

研究開発成果 実装支援プログラム
平成20年度 報告書

実装活動の名称 「高齢者ドライバーの安全運転を長期間
継続可能にする支援システムの社会実装」

採択年度 平成20年度
実装機関名 国立長寿医療センター
実装責任者 伊藤 安海

1. 概要

平成20年度は、初期実装活動に必要な資機材（ドライビング・シミュレータ、ドライブレコーダ）を購入・レンタルした上で、模擬実装試験の実施、現地自治体（富士河口湖町）との打ち合わせを行い、実装版運転トレーニングシステムの製作に着手した。

さらに、平成21年2月より富士河口湖町が我々の活動に連動して「高齢者ドライバー支援」事業を立ち上げ、その「高齢者ドライバー支援」事業の一環として3月には町の65歳以上の町の高齢者約160人を集めて「交通安全実践セミナー」を開催した。

なお、高齢ドライバー運転危険地域の調査に関しては、3月末に打ち合わせを行う予定であったが、担当者が退職したため、新規採用者が入所する4月に打ち合わせを延期した。

2. 実装活動の具体的内容

平成20年度は、初期実装活動に必要な資機材を購入した上で、以下①～③に詳細を示す模擬実装試験の実施、現地自治体（富士河口湖町）との打ち合わせを行い、実装版運転トレーニングシステムの製作に着手した。

なお、高齢ドライバー運転危険地域（地点）の調査に関しては、平成21年度の開始を目指して年度末に打ち合わせを行う予定であったが、担当者が退職したため、新規採用者が入所する4月に打ち合わせを延期した。

① 模擬実装試験の実施

【当初計画】

実装活動に必要な新型簡易ドライビング・シミュレータ、ドライブレコーダ等の資機材を購入し、若干の改良を行った上で、実装組織（国立長寿医療センター）において、模擬実装試験（実装メンバーを被験者に見立てて各機器を用いた検査、教育等を実施）を行う。なお、機器、プロトコルに随時不具合が生じた場合はその都度修正・改良を行う。

【実際の活動】

実装活動に必要なドライビングシミュレータソフトウェア、ハードウェア（コンピュータ）を購入し、ドライブレコーダは共同研究機関から無償で貸出を受けた。

資機材の購入と並行して模擬実装試験を行う行い、現在の運転能力評価システムの改善点（=全ての年齢層のドライバーを対象としているため、高齢ドライバーの能力が全体的に低く評価され、個々のドライバーの能力を比較しづらい）が明らかになったため、車両速度をより低速に変更可能にするなどの改良を加えた高齢ドライバー運転能力評価システムを外注により製作（プロトタイプの改良を）した。

② 現地自治体との打ち合わせ

【当初計画】

平成21年度以降の富士河口湖町での実装活動に向けて、富士河口湖町及び富士河口湖町社会福祉協議会と入念な打ち合わせを行う。場合によっては、プロトタイプ機材を現地に持ち込み、健康診断時などに部分的な実装活動の予行練習（一部の検査等の実査）を行い、問題点の洗い出しとその改善策の検討を行う。

【実際の活動】

富士河口湖町及び富士河口湖町社会福祉協議会と実装活動の開始に向けた打ち合わせを6回（月1回）行った。その結果、平成21年2月より富士河口湖町が「高齢者ドライバー支援」事業を立ち上げ、我々の活動と歩調を合わせて町が動くこととなった。さらに、町の「高齢者ドライバー支援」事業の一環として3月には町の65歳以上の町の高齢者約160人を集めて「交通安全実践セミナー」を開催した。セミナーの最後には、平成21年度の実装活動への参加を呼びかけ、同時にプロトタイプ機材（ドライビング・シミュレータ、ドライブレコーダ）によるデモンストレーション、試乗を実施した。

③ 実装版運転トレーニングシステムの製作開始

【当初計画】

新型簡易ドライビング・シミュレータをリースし、実装版運転トレーニングシステムの製作（プログラムの改良）に着手する。当該年度は、現在のプロトタイププログラムにおける改善箇所を見つけるため、実装メンバー自身が被験者となる予備トレーニング試験を繰り返し実施する。

【実際の活動】

富士河口湖町との協議の結果、平成21年度は、参加者が十分な時間運転トレーニングを実施するためトレーニングを同時に5人程度行うこととなった。そこで、高価な基本ソフトウェア上で作動し、使用するハードウェア（コンピュータ）もハイスペックなマシンを必要とする現在の運転トレーニングシステムを改良するのではなく、新たに低コストの機材で同様のトレーニングが実施可能なシステムを開発することとした。その結果、ソフトウェア（プログラム）を開発する業者の選定・打ち合わせに1ヶ月を要したため、平成20年度は、プロトタイププログラムにおける改善点を反映させた基本仕様の設計までで終了してしまった。

3. 成果

【講習会の開催】

名 称： 交通安全実践講習会（セミナー）

開催日時： 2009年3月3日 13：30～15：30

開催場所： 勝山ふれあいセンター

主 催： 富士河口湖町

参 加 者： 交通安全に興味を持つ高齢者160名程度

概 要： 交通安全に興味を持つ高齢者を対象に行われるセミナー形式の講習会であり、講座では、交通安全に詳しい実践女子大の松浦常夫教授、富士河口湖町に位置する健康科学大学で高齢者の認知症予防の研究を行う田山講師を招き、すぐに実践できる交通安全の秘訣や認知症予防体操などを公開した。

参考資料： 「別紙資料」として講習会参加者募集のビラを添付

別紙資料

町内の65歳以上の方必見

明日からデキル！！ 交通安全実践講習会



入場
無料

みなさんこんにちは！！**富士河口湖町 福祉推進課**です。まだしばらくは寒い日が続きそうですが、いかがお過ごしでしょうか？

この度、富士河口湖町では、今後の高齢化に適したまちづくりに向けて、少しでも高齢者の皆様が暮らしやすいまちにしていけるために、**3月3日に交通安全に関するセミナーを開催**することに致しました。当日は、**普段では聞けない有名講師**から「**明日からデキル 交通安全のコツ**」を伝授していただきます。お忙しいとは思いますが奮ってご応募ください。

セミナースケジュール



| 時間 | セミナー内容 | 講師 |
|---------------------|---|---------------------------|
| 13:30～13:40 | 挨拶 | 富士河口湖町長 渡邊 凱保 |
| 第一講座 13:40～14:20 | 「高齢者の交通安全のトレンドと実践対処法」 ●高齢者と交通安全のメガトレンド ●実践 安全運転ワークブックから学ぶ | 実践女子大 教授 松浦 常夫 |
| 第二講座 14:30～15:10 | 「これで安心！！認知症予防体操」 ●認知症と交通安全の関係性 ●やってみよう！！明日からできる認知症体操 | 健康科学大学 講師 田山 雅世 |
| まとめ 15:15～15:30 | 「富士河口湖での高齢者交通安全に向けて」 ●まとめ講座 ●これからの町の施策と協力をお願い | 国立長寿医療センター研究所 室長 伊藤 安海 |

実装支援プログラム 年度報告書 様式

(1) 出願 (公開は考えていない)

①国内出願 (0 件)

②海外出願 (0 件)